

砧地域 防災教室(訓練)実施申込書

提出期限:前月10日必着

実施日	令和 年 月 日() 時 分 ~ 時 分			
	雨天時	<input type="checkbox"/> 実施(雨天時実施場所:) <input type="checkbox"/> 中止(当日 時 分に決定)		
	避難訓練(学校等の場合)	<input type="checkbox"/> 同日に避難訓練を(下記の訓練項目とは別に)実施する		
実施場所	名称			
	住所	世田谷区 丁目 番号		
	訓練車両駐車場所			
実施団体	名称		参加人数(予定)	人
	担当者名		連絡先	電話: - - FAX: - -
訓練項目	<input type="checkbox"/> 地震体験訓練	・体験人数〔 人〕※運行目安:1時間あたり約60名 <input type="checkbox"/> 地震体験車(大型:なまず号) ※雨天時の実施については別紙参考資料「地震体験訓練について」を参照		
	<input type="checkbox"/> 煙中避難訓練 ※裏面の注意事項をご参照ください	・体験人数〔 人〕※喘息の方は参加をお控えください ・発電機〔 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要〕 <input type="checkbox"/> 屋外(訓練用テントで実施) ※雨天時、強風時は実施できません(別紙参考資料「煙中訓練について」を参照) <input type="checkbox"/> 屋内 ※有資格者による火災報知器の停止や煙感知器の取り外しが必要です ※別添のチェックリストをあわせてご提出ください		
	<input type="checkbox"/> 初期消火訓練	・体験人数〔 人〕 <input type="checkbox"/> 消火器訓練 <input type="checkbox"/> バケツ投水訓練〔バケツの貸し出し <input type="checkbox"/> 要(個) <input type="checkbox"/> 不要〕		
	<input type="checkbox"/> 避難所用資機材操作訓練	・体験人数〔 人〕 ・希望項目 <input type="checkbox"/> 炊き出し〔内容: 〕 <input type="checkbox"/> バーナー〔操作説明 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無〕 <input type="checkbox"/> 仮設トイレ(マンホールトイレ) <input type="checkbox"/> 発電機〔 <input type="checkbox"/> ガソリン <input type="checkbox"/> ガスボンベ〕 <input type="checkbox"/> 応急給水訓練 ・避難所運営に関連する内容の希望項目 <input type="checkbox"/> 無線機 <input type="checkbox"/> 間仕切り等の組み立て〔組み立て指導 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無〕 <input type="checkbox"/> その他〔 〕		
	<input type="checkbox"/> 講演・DVD上映	<input type="checkbox"/> 講演 予定時間〔 分〕 希望内容〔 〕 <input type="checkbox"/> DVD上映会〔上映機器 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無〕 予定時間〔 分〕 希望内容〔 〕		
	<input type="checkbox"/> 消防署が指導する訓練	※別途、成城消防署へ連絡をお願いいたします。 申込先:成城消防署 03-3416-0119(代表電話) <input type="checkbox"/> スタンドパイプ操法訓練〔 <input type="checkbox"/> 基本操作 <input type="checkbox"/> 放水訓練〕 <input type="checkbox"/> D級可搬消防ポンプ操法訓練〔 <input type="checkbox"/> 基本操作 <input type="checkbox"/> 放水訓練〕 <input type="checkbox"/> 応急救護訓練〔 <input type="checkbox"/> 三角巾救急法 <input type="checkbox"/> 心肺蘇生法 <input type="checkbox"/> 応急担架作成〕 <input type="checkbox"/> 通報連絡訓練 <input type="checkbox"/> 救出・救助訓練〔希望内容: 〕		
備考 (搬入希望物品等)	<input type="checkbox"/> 段ボールベッド <input type="checkbox"/> 簡易ベッド <input type="checkbox"/> 多目的テント(プライベートルーム) <input type="checkbox"/> テント型間仕切り(簡易テント・「なごみ」) <input type="checkbox"/> 簡易間仕切り(プラ段ボール・緑) <input type="checkbox"/> 紙管型間仕切り(紙筒・布) <input type="checkbox"/> その他 []			

◆ 申込書提出にあたっての注意事項 ※内容を確定のうえお申し込みください

・提出期限は訓練実施日の前月10日必着(土日祝日の場合はその前の開庁日)です。

・日程によってはご希望に添えない場合がありますので、お早めにお申し込みください。

・暑さ指数(WBGT)など、当日の状況によっては訓練内容のご相談をさせていただく場合があります。

・訓練場所は実施団体で確保してください。

※サッカーゴールや野球の防球ネットなど、重量物の移動・運搬は申込団体で行ってください。

・タイムスケジュール等、訓練に関する資料がありましたら添付してください。

◆ 訓練に必要なスペースおよび注意事項

【地震体験訓練】地震体験車の寸法:長さ6.9m×幅2.3m(訓練時3.8m)×高さ3m(訓練時3.5m) 車重6.5t

・訓練実施には10m四方の固くて水平な場所が必要です。

・訓練場所によっては、道幅・高さ制限により車両が入れない場合があります。

・雨天時の実施については別紙参考資料「地震体験訓練について」を参照してください。

・1時間あたり60名程度体験が可能です。

・震度2～7までの揺れを体験できます。

【煙中避難訓練】訓練テントの寸法:長さ5.4m×幅2.7m×高さ2.1m

・100Vの電源(コンセント)を確保してください。

※訓練実施場所の近くにコンセントがない場合は、発電機を用意しますので、その旨ご記入ください。

・雨天時、強風時は危険防止のためテントでの訓練は実施できません。

別紙参考資料「煙中訓練について」を参照してください。

・屋内で実施する場合は、有資格者による消防用設備(火災報知機、防火扉、排煙装置等)の停止または取り外しが必要となります。別添のチェックリストをあわせてご提出ください。

・体験時間は約100名で約45分、約600名で約3時間以上必要です。

・スモークマシンは約1時間(夏は30分)につき30分程度のクールダウン(休憩)が必要です。

訓練が長時間にわたる場合は、休憩時間も含めて実施時間を設定してください。

・訓練で使用する煙は無害ですが、微粒子が含まれるため喘息の方は参加をお控えください。

◆ 事故の補償について ※学校や企業等の活動における訓練は適用外です。

防災訓練におけるケガ等について、区加入の保険(防火防災訓練災害補償等共済)の対象となる場合があります。下記担当までご連絡ください。

◆ 訓練実施場所等の配置図 ※訓練車両の駐車場所についてもご記入ください

学校・保育園・幼稚園等で訓練を行う場合は、校庭・園庭のどの位置で行うかをご記入ください

【申し込み・問合せ】

砧総合支所 地域振興課 地域振興・防災担当

〒157-8501 世田谷区成城6-2-1

TEL:03-3482-2169 FAX:03-3482-1655

訓練項目一覧

訓練項目		訓練内容
地震体験訓練 ※参考資料参照	地震体験車 (なまず号)	震度2～7の揺れを体験し、地震から身を守る方法を学ぶ訓練
煙中避難訓練 ※参考資料参照	屋外	煙を充満させたテント内で火災の疑似体験を行い、避難行動を学ぶ訓練
	屋内	煙を充満させた施設内で火災の疑似体験を行い、避難行動を学ぶ訓練 ※有資格者による火災報知器の停止や煙感知器の取り外しが必要です
初期消火訓練 ※参考資料参照	消火器訓練	訓練用の水消火器を使用し、消火器の使用方法を学ぶ訓練 ※体験人数が多い場合は水と電源の確保が必要です(消火器への充水のため) ※小学生以下の場合は安全確保を優先させた訓練を推奨しております
	バケツ投水訓練	火災を想定し、バケツリレーや標的への投水を行う訓練
講演・DVD上映	講演	地震・火災などに関する講演
	DVD上映	地震・火災などに関するDVDの上映 ※上映に必要な機器(プロジェクター、スクリーン、プレイヤー)をご用意ください
資機材操作訓練	炊き出し	アルファ米などを用いて炊き出しを行う訓練
	バーナー	バーナーの操作方法を学ぶ訓練 ※電源の確保が必要
	仮設トイレ	マンホールトイレが整備されている公園・学校等で、仮設トイレの設置方法を学ぶ訓練 ※訓練用の仮設トイレを使用し、組み立てのみの訓練も可能
	発電機	発電機の操作方法を学ぶ訓練 ※「ガソリンタイプ」「ガスボンベタイプ」2種類の発電機で訓練可能
	応急給水訓練	指定避難所に設置されている応急給水栓について、資器材(スタンドパイプ等)の操作手順や設置方法を学ぶ訓練
	無線機操作	区が指定避難所等に配備している無線機の操作方法を学ぶ訓練
消防署が指導する訓練 ※申込書を提出する前に、成城消防署へ連絡をしてください	スタンドパイプ操法訓練	スタンドパイプの操作方法を学ぶ訓練 ※スタンドパイプ: 消火栓に取り付けて放水する資機材
	D級可搬ポンプ操法訓練	D級可搬ポンプの操作方法を学ぶ訓練 ※D級可搬ポンプ: 防火水槽やプールなどから水を汲みあげ放水する資機材
	応急救護訓練	事故や災害に備えて正しい応急手当を学ぶ訓練 ・三角巾包帯法: 三角巾を使用して簡単な包帯方法、止血方法を学ぶ訓練 ・心肺蘇生法: 人形を使用して人工呼吸、心臓マッサージを学ぶ訓練
	通報連絡訓練	模擬電話を使用して火事や緊急時の適切な通報方法を学ぶ訓練
	救出救助訓練	救出救助用資機材を操作し救出方法を学ぶ訓練 ※救出救助用資機材: 自動車用ジャッキ、パール、のこぎり等

※事故防止のため、暑さ指数(WBGT)など、当日の状況によっては訓練内容のご相談をさせていただく場合があります。

◆地震体験訓練について

【実施上の注意点】

- ・10m四方の固くて水平な場所が必要です。
- ・雨天時でも以下の条件を満たす場合は実施可能です。
 - ☑屋根の高さが3.5m以上ある
 - ☑実施にあたり十分なスペースがある
 - ☑排気ガスが充満しないよう換気ができる(発電機を使用するため)
 - ☑重量に耐えられる
- ・雨などにより地面のぬかるみがひどい場合は安全上の問題により運行できない場合があります。



地震体験車(なまず号)

体験内容	震度: 2~7 人数: 4人まで
大きさ	[通常時] 長さ6.9m × 幅2.3m × 高さ3.0m [訓練時] 長さ6.9m × 幅3.8m × 高さ3.5m
重量	約6.5t
注意事項	・実施場所によっては上記を満たしていても実施できないことがあります。事前にご相談ください。 ・車両の最低地上高が約10cmとなっているため、進入経路に段差がある場合は車が入れないことがあります。

◆煙中訓練について

【実施上の注意点】

- ・100Vの電源(コンセント)が必要です。(実施場所の近くにコンセントがない場合は、発電機をご用意できます)
- 【屋外で実施する場合】
 - ・10m四方ほどの場所が必要です。
 - ・雨天時、強風時は危険防止のためテントでの訓練は実施できません。
※雨・風が避けられる屋根のあるところであれば実施可能。
- 【屋内で実施する場合】
 - ・有資格者による消防用設備(火災報知機、防火扉、排煙装置等)の停止または取り外しが必要となります。



煙中訓練テント

- ・大きさ(組立時): 長さ5.4m × 幅2.7m × 高さ2.1m
- ・煙の成分について
煙中訓練で使用する煙は、安全性の高い成分を使用しています。
煙の成分は、グリコール類及び精製水となっています。
グリコール類は冷凍食品の保存、化粧品や医薬品などに広く使用されています。
※微粒子のため喘息の方は参加をお控えください。
- ・スモークマシンは約1時間(夏は30分)につき30分程度のクールダウン(休憩)が必要です。

◆初期消火訓練について

【実施上の注意点】

- ・小学生以下の方が訓練を行う場合は、消火器の使用方法ではなく、火事を発見した際に「火事だ!」など大声を出し、周りの大人に知らせて助けを求め、それを聞いた大人(保護者や教師等)が児童・幼児を火から遠ざけるなどの、安全確保を優先させた訓練を推奨しております。
※火の怖さを伝え、火災時に身を守ることを優先し、火や煙による事故を防ぐことを目的としています。



訓練用消火器



火的

- ・放射には5~10m程度のスペースが必要です
- ・雨天時は屋根のある場所でのみ実施可能です

屋内煙中訓練時 事前確認事項 チェックリスト

〈屋内にテントを張る場合も同様です〉

実施日時	令和 年 月 日() 時 分 ~ 時 分	
実施団体		
担当者名	訓練担当者名:	訓練責任者名:

◆チェック項目①「警備会社への連絡」

- 施設の消防設備を管理している会社に「建物内に煙を充填させて避難訓練を実施するので煙感知器が反応しないように警報機の停止または煙感知器の取り外し」をお願いしたいと伝達する。



◆チェック項目②「火災報知器および煙感知器の取り扱い①」

- 火災警報器の停止、煙感知器の取り外しは一般の方(学校主事、教職員、施設職員などを含む)は行えません。
※有資格者のみ操作が可能です。
※一般の方が操作すると消防法違反行為に該当するおそれがあります。



◆チェック項目③「火災報知器および煙感知器の取り扱い②」

以下のどちらの方法で訓練を行うのかを選択する。
※施設の消防設備の管理会社に確認をしてください。

- 火災警報器の停止
 煙感知器の取り外し



◆チェック項目④「実施の可否」

以下のどちらかが「可能」である

火災警報器の停止
 煙感知器の取り外し



屋内煙中訓練「実施可能」

※どちらも「不可能」な場合、屋内煙中訓練は「実施不可」です。

屋外でテントを設営して実施してください。

区の訓練指導員(委託事業者)は警報器停止、煙感知器取り外しは対応できません